

- 第104回組合会のご報告 理事長 尾崎英俊
- 平成22年度事業報告 ○平成22年度歳入歳出決算書(総括表) ○積立金保有状況
- 国保組合からのお知らせ ●健康診断のご案内
- 平成23年度保健事業第1弾 “隅田川水上バスから眺める東京スカイツリーと浅草散策”
- 平成23年度保健事業第2弾 “横浜駅から歩いてみよう!みなとみらい21ウォークPARTⅢ”



## 第104回組合会のご報告

神奈川県薬剤師国民健康保険組合  
 理事長 尾崎英俊

第104回組合会が平成23年7月30日(土)午後6時から、神奈川県総合薬事保健センターにて組合会議員37名(書面10名)、役員9名、並びに公認会計士が出席して開催されました。

報告事項では、コンプライアンス担当理事の村上常務理事から、当組合のコンプライアンス体制について、①組合組織における不祥事件防止を目的として「法令遵守体制の整備に関する基本方針」等を策定して法令遵守のための組織体制の整備を行った。②監事の監査項目に「法令遵守に関する業務の執行状況」についての監査を追加し、監査機能を強化した。③公認会計士による会計監査を引き続き実施し、会計面においても不祥事件を未然に防止する等の説明がありました。

さらに事務局から、国保組合の一連の不祥事件に対する指導監督強化の一環として、6月15日に実施された会計検査院実地検査の結果、加入者の資格要件は概ね適正なものであり、業務の改善を伴う指摘事項等はなかったことが報告されました。

その他の報告事項では、3年目を迎えた特定健診について保健事業実行委員会の内田委員長から、受診率は昨年度を上回っており、特定健診への関心は年々高まっているが、平成22年度の受診率45%の目標達成は厳しい状況との報告がありました。

議事では、平成22年度の事業報告、歳入歳出決算等の議案がそれぞれ原案どおり可決されました。

まず、事業報告では、被保険者数は支店の増加等により前年度より107人増加し、主要財源である国民健康保険料は当初予算を約1千700万円上回る収入を確保することができました。

また、国民健康保険料の収納率は組合員の皆さまのご協力で昭和63年度から23年間100%を維持して

おります。

レセプト点検等による財政効果では、前年度を上回る350万円以上の高い財政効果がありました。

決算状況についてですが、歳入面では被保険者の伸びにより国民健康保険料(総収入の約52%)は前年度より2.3%の増収となりました。

一方、歳出面では保険給付費(総支出の約59%)は4.2%増加し、過去3年間で最も高い伸びになりました。

監査報告では、公認会計士による会計監査並びに監事監査により、会計、積立金、並びに事業内容全般について適正な事業運営が行われている旨の報告がありました。

また、監事の付帯意見として、昨年11月の行政刷新会議の事業仕分けによる「所得水準の高い国保組合の定率国庫補助削減問題」について、組合の運営を左右する重大な問題であり、今後の動向には十分注意されたいとの発言がありました。

定率国庫補助の削減問題は、組合財政に重大な影響があり、組合員の負担増に直結するため、今後、国会での審議の行方を見守りたいと思います。

歳入総額から歳出総額を差し引いた形式収支は、2億8,600余万円の黒字ですが、前年度繰越金を差し引いた単年度収支は7千余万円の赤字になりました。

この単年度赤字ですが、平成23年度に法定外積立金である別途積立金の一部を取り崩し、一般会計に繰り入れることで解消される見込みです。

以上、事業が概ね計画どおりに実施できたのは、皆様方のご理解とご協力によるものと感謝しております。

末筆になりましたが、時節柄ご自愛下さいませよう祈念して、簡単ではありますが事業報告等に代えさせて頂きます。

# 平成22年度事業報告

## 平成22年度 歳入歳出決算書(総括表)

### 歳入

款	金額
1 国民健康保険料	688,295,000
2 使用料及び手数料	1,600
3 国庫支出金	244,063,748
4 前期高齢者交付金	0
5 県支出金	1,044,000
6 市支出金	703,000
7 共同事業交付金	9,486,000
8 財産収入	2,614,633
9 繰入金	0
10 繰越金	356,936,680
11 諸収入	4,714,779
歳出合計	1,307,859,440

### 歳出

(単位:円)

款	金額
1 組合会費	882,913
2 総務費	61,871,691
3 保険給付費	600,265,462
4 後期高齢者支援金等	172,185,472
5 前期高齢者納付金等	29,891,196
6 老人保健拠出金	9,185
7 介護納付金	90,030,384
8 共同事業拠出金	14,339,000
9 保健事業費	35,925,416
10 積立金	2,614,633
11 諸支出金	13,471,317
12 予備費	0
歳出合計	1,021,486,669

### 歳入歳出決算額

歳入決算額	1,307,859,440
歳出決算額	1,021,486,669
歳入歳出決算額	286,372,771

### 剰余金処分

次年度繰越金	286,372,771
--------	-------------

## 積立金保有状況

(単位:円)

種類	平成21年度末現在高	決算年度中増減額	平成22年度末現在高
特別積立金	156,868,871	702,188	157,571,059
準備金積立金	168,955,226	897,287	169,852,513
退職積立金	51,482,650	166,053	51,648,703
別途積立金	290,491,286	849,105	291,340,391
合計	667,798,033	2,614,633	670,412,666

## …国保組合からのお知らせ…

### 被保険者証が更新されます

平成23年10月1日付けで被保険者証(保険証)が更新されます。新しい保険証は「浅黄色」で9月下旬に郵送いたします。なお、15人以上の事業所には薬局宛てにまとめてお送りします。

### 臓器提供意思表示カードが新しくなりました

平成22年7月、改正臓器移植法が全面施行され、本人の臓器提供の意思が不明の場合でも、家族の承諾があれば臓器提供ができるようになりました。

意思表示カードは、臓器提供を希望される方だけでなく、希望されない方にとっても自分の意思を明確に表示するための大切な手段となります。

意思表示はインターネットで登録することもできますが、組合では被保険者証の裏面に貼付する「臓器提供意思表示シール」を用意しています。ご希望の方は組合までご連絡下さい。

### 事務所休業について

職員研修会のため、次のとおり事務所を休業させていただきます。諸手続きは郵送等でお願いたします。

平成23年9月15日(木)～16日(金) 全国薬剤師国民健康保険組合連合会職員研修会

平成23年12月2日(金) 東日本薬剤師国民健康保険組合職員研修会

# 健康診断のご案内

健康状態の把握や病気の早期発見のために、年度に1回、健康診断を受診しましょう。

## <40歳～75歳未満の方へ> ～特定健診Q&A～

<b>Q1</b> 特定健診とはなんですか？	<b>A1</b> メタボリックシンドローム(内臓脂肪症候群)に着目した健診です。	
<b>Q2</b> 誰が対象になっていますか？	<b>A2</b> 神奈川県薬剤師国保加入中の40歳～75歳未満の方です。対象者には6月初旬に受診券をお送りしてあります。	
<b>Q3</b> 今年度75歳になります。特定健診を受けられますか？	<b>A3</b> 75歳の誕生日の前日まで受診することができます。	
<b>Q4</b> 一般健康診断や人間ドックとの違いはなんですか？	<b>A4</b> 特定健診	メタボリックシンドロームに着目した基本的な検査項目の健診です。
	一般健康診断	労働安全衛生法に基づく定期健診に準ずるもので、特定健診の項目が含まれています。
	人間ドック	一般健康診断の検査項目をより充実させた健診です。
<b>Q5</b> どの健診を受ければいいのか？	<b>A5</b> 一般健康診断や人間ドックは特定健診の項目を兼ねているため、対象者は、特定健診・一般健康診断・人間ドックのいずれかを年度に1回、受診するようお願いいたします。	
<b>Q6</b> どうしても受けなくてはならないのでしょうか？	<b>A6</b> 特定健診や特定健診の項目を含む一般健診、人間ドックの受診実績により、後期高齢者医療制度への拠出金の加算減算が行われます。拠出金が加算された場合、組合の負担増となり、将来の保険料に影響する事が考えられます。	
<b>Q7</b> 費用はいくらかかりますか？	<b>A7</b> 下記の補助金制度をご利用いただくことで、特定健診、一般健康診断を受診する場合、ほとんどの場合受診者負担なしで受ける事ができます。人間ドックを受診する場合は、1万円程度の自己負担になります(料金は健診機関により異なります。)	
<b>Q8</b> 補助金を受け取るのに申請が必要でしょうか？	<b>A8</b> 個別契約健診機関で受診する場合は、受診の際に受診券と保険証を提示することで補助金額分は免除になりますので、申請の手続きが必要ありません。その他詳細は、受診券と一緒に送りしたリーフレットをご覧ください。	
<b>Q9</b> 健診を受けた後のアフターケアはありますか？	<b>A9</b> 特定保健指導というものがあります。特定健診及び特定健診の項目を含む健診を受診された方で、国が定めた項目の数値が基準を超えている方は保健指導実施者(医師等)から、生活習慣改善の為のアドバイスを受ける事ができます。費用は無料です。該当した方には、ご案内をお送りします。	

## <補助制度について>

健診の種類	対象年齢	補助金額	受診できる健診機関
①特定健診・一般健康診断・人間ドック・PET健診(いずれか一つ)	40歳～75歳未満	30,000円	契約健診機関 特定健診実施機関等
②一般健康診断・人間ドック・PET健診(いずれか一つ)	30歳～39歳	20,000円	契約健診機関以外も可
③脳ドック	40歳～75歳未満	30,000円	契約健診機関以外も可
	30歳～39歳	20,000円	
④婦人科系検査	20歳～75歳未満	5,000円	契約健診機関以外も可

※①～④について、それぞれ年度に1回の補助を行います。

※補助金額を超える場合、越えた部分は自己負担になります。

※対象年齢は、年度内(H23.4～H24.3)にその年齢に到達する方です。

※その他詳細は、同封の「国保のしおり2011年度版」または組合ホームページ(<http://www.kyokokuho.or.jp/>)をご覧ください。

### 被保険者数の 状況

区分	第1種組合員	第2種組合員	第3種組合員	家族	計
平成23年7月31日現在	527	1,414	804	1,519	4,264
増減(22年7月31日との比較)	△7	+74	+27	+38	+132



## 平成23年度保健事業 第1弾



# 隅田川水上バスから眺める 東京スカイツリーと浅草散策

～東京の今(東京スカイツリー)と昔(浅草)を満喫する旅～

今回の旅は、2012年5月開業予定の東京スカイツリーを水上バスと観光バスの車窓から楽しんでいただくバス旅行です。ご昼食は、浅草寺の御門前で暖簾を上げて65年のてんぷら料理の「葵丸進」です。昼食後は、浅草・仲見世で散策とお買い物をお楽しみ頂き、最後に「江戸東京博物館」で江戸～東京の歴史と文化にふれていただくコースです。

期 日 ● 平成23年10月23日(日)(雨天決行)

募集人数 ● 80名

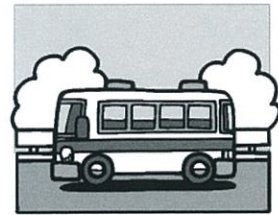
参加費 ● 大人:1人4,000円、小人:1人2,500円

(参加費には、バス代、昼食代、入場料が含まれます。)

集 合 ● 8時30分 解 散 ● 17時30分(予定)

申込方法 ● 同封の参加申込書を9月26日(月)までにFax又は郵便で組合へお送り下さい。

(当日消印有効。お申込み多数の場合は抽選となります。)



### 行程

横浜駅西口 → 浜離宮恩賜庭園(散策)～～～(隅田川ライン)～～～ 浅草 →  
葵丸進(昼食) → 仲見世(散策) → 江戸東京博物館(見学) → 横浜駅西口

旅行業務委託先:名鉄観光

## 平成23年度保健事業 第2弾



# 横浜駅から歩いてみよう! みなとみらい21ウォーク PARTⅢ

～海へと続く汽船道を歩く～

今回の健康ウォークは、横浜駅から港の見える丘公園までの約8キロ・2時間のコースです。臨海鉄道の遺構を利用した汽船道や赤レンガ倉庫、山下公園など観光名所を巡るウォークです。

組合未加入の方も参加する事が出来ますので、ご家族やご友人をお誘いあわせの上、ぜひご参加下さい。参加賞、完歩賞もご用意しています(完歩賞は薬剤師国保組合加入者のみとさせていただきます。)

期 日 ● 平成23年11月3日(水・祝)(小雨決行) 荒天の場合は11月6日(日)に延期となります。

募集人数 ● 80名

参加費 ● 無料

集 合 ● 横浜駅東口駅前広場 10時 解 散 ● 港の見える丘公園 12時(予定)

申込方法:同封の参加申込書を10月21日(金)までにFax又は郵便で組合へお送り下さい。

(当日消印有効。お申込み多数の場合は抽選となります。)

### 行程

横浜駅東口 … 臨港パーク … 日本丸 … 赤レンガ倉庫(休憩)…  
… 山下公園 … 港の見える丘公園

※バス旅行、健康ウォークの詳細につきましては、参加者へ直接ご案内します。